



第21回入学式「式辞」

木々の新緑、美しい草花が、うららかな春の日差しに映える今日、この佳き日に、めでたく入学を許可されました新入生の皆さん、入学誠におめでとうございます。

本日、ここに、ご来賓、保護者の皆様のご臨席をたまわり、兵庫県立芦屋国際中等

教育学校、「第21回入学式」を挙行できますことは、この上ない喜びでございます。厚く御礼申し上げます。

さて、新入生の皆さん、いよいよ、中等教育学校での生活がスタートします。多くの方が初めての経験だったことでしょう、「入学試験」を受験され、見事、合格！そして必要な手続きが全て整い、本日の「入学許可」に至ったというわけです。実にめでたく、長い人生の中でも、とりわけ大きな節目となる出来事になることだと思います。

これまで、それぞれの人生を歩んでこられた80名の皆さんですが、絶対的な共通点…それは、十年余り前に、この世に生を受けられたということ。皆さんの「命」が、お母さんのお腹の中に宿ったと分かった時、それはそれは喜ばれたことでしょう。そして、あふれんばかりの愛情を注いでいただき、お腹をさすりながら話しかけていただき成長し、“誕生の日”を迎えられました。誕生したとて、我々人類の赤ちゃんは、決して一人では生きていくことができません。保護者の方は、ほかの何よりも優先して、皆さんに心を配り育て、中には仕事を辞めたり、職場を変えたりされた方もおられたことでしょう。今日の中等教育学校入学まで導いてこられた保護者の方々には、さぞ、ご苦勞も多かったことと推察いたします。

皆さん、この世のすべては、「命」あってのこと、この世のステージに立たせていただけたこと以上に、「有り難い」ことなど、存在するはずがないのです。いただいた「命」、育てていただいた「命」…今日の、この新たな出発、人生の大きな節目で、是非、今一度この点に思いをめぐらせ、感謝の気持ちを保護者の方に伝えてください。

去る2月28日、この同じ場所で、15期生が、堂々と胸を張り卒業していかれました。それぞれの目標をかなえ、次のステージへと、意気揚々と進んで行かれました。皆さん、今日から前期課程の約千日、後期課程の約千日と、合わせて約2千日後が卒業式です。この2千日をどのように過ごすかで、その後の人生は大きく変わります。

皆さんに一点だけ、しっかりと押さえておいていただきたいこと…それは、「人生の目的」「生きる目的」は何か、ということ…私は、「人生の目的」「生きる目的」は、「幸いにも、両親から『人』としていただけた『命』に深く感謝し、この『命』が尽きるまで『魂』を磨き自らを高め、獲得した力で、世のため人のために役立つよう努めていくこと」だと考えています。

そして、実は私たちが、最大の喜び、幸福感を得ることができるのは、自ら

の存在、行いや話し伝えたことが「世のため人のために役立った」と実感できたときなのです。私たちは、互いに助け合い、人の役に立ちながら生きることで、はじめて幸福感が得られるよう創られているのです。

これからの2千日、この「人生の目的」を見失わず、余りあるエネルギーを、どうか、自らを高めるために使ってください。そのためには、まずは「授業」を通して、学問の深み、人類の知恵の奥深さに触れながら、多くの「知識」を獲得し、学ぶことの楽しさ、学べることの幸せを体感してください。

加えて、「ホームルーム活動」、「生徒会活動」、「学校行事」、そして「部活動」も、とても重要です。様々な場面で、色々な人と人間関係を築き、協力し、時にはぶつかりあって刺激され、磨きをかけ、校訓である「Respect 尊敬、Integration 融和、Contribution 貢献」の精神のもと、「総合的人間力」獲得に努めてください。

大勢の仲間が集う学校では、時には、ストレスのかかることにも出会うことでしょう。そんな時には、「ストレスこそ、自らを高める“磨き砂”」だと受け止める力も持ち合わせ、在学中に迎える18歳で成人となる今、志高く、心身ともに頼もしく成長していかれることを願っています。

そして、まずは何よりも、学校生活を楽しんでください。皆さんの秘めた能力は、自ら意欲的に取り組み、楽しめたときに大きく開花するのです。指示されたことだけを受け身で取り組んでいる状況での成長には限界があるのです。誰にも遠慮することなく、大きく飛躍、突き抜けていってください。可能性は無限です。限界を決めているのは、ほかの誰でもない、自分自身なのです。自らを信じ、限界から解放し、突き抜けていってください。

もちろん、「一人で頑張れ」などとは言いません。優しく頼もしい先輩が、また、情熱と愛情にあふれた大勢の先生が、そして何より、奇跡的な確率で、今日、一緒に入学した、深い「ご縁」のある「友」がいます。「友」と語り合い、互いを認め励まし合い、補い合って取り組めば、突破できないことなど、絶対にはないのです。6年間で、一生の友を一人でも多くつくってください。

保護者の皆様、本日は、誠におめでとうございます。立派に成長したお子様の「晴れ姿」をご覧になられ、感慨も一入のことと存じます。心よりお慶び申し上げます。

私たちは、本日、かけがえのない、各ご家庭の宝物、大切なお子様をお預かりいたしました。全職員、最善を尽くし、6年後には、それぞれの大きな夢に向かって元気に、胸を張り旅立ち、皆様から「芦国に入学して、本当に良かった！」と喜んでいただけるよう、教育を、生涯の「生業」とする、プロの教育者としての誇りと責任にかけ、誠心誠意取り組んでまいります。

結びに、本日ご隣席いただきました、ご来賓、保護者の皆様に改めてお礼申し上げますとともに、今後一層のご支援、ご協力をお願い申し上げまして、「式辞」といたします。

令和5年4月10日

兵庫県立芦屋国際中等教育学校長 川崎 芳徳